

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小規模保育事業所整備補助事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課			
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	熊井 彰			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保育所に子どもを預けたい（預けている）保護者	意図	保育所入所待機児童を解消するとともに、安心して子どもを保育所に預けられるようにする。
事業内容	社会福祉法人等が整備する小規模保育事業所（定員19人以下）に対し、建設費の一部を補助する事業である。平成30年度には、おおたかの森地区に定員19名の「アルタベビーセントラルおおたかの森園」を整備し、東部地区に定員19名の「MIRATZ流山向小金園」の整備を図った。			
事業開始から現在までの状況変化	小規模保育事業所は平成27年度からスタートした子ども・子育て支援制度において待機児童解消を図るための保育施設である。保育需要の高まりから待機児童が発生する状況が続いている。今後も認可保育所整備と併せて整備を推進する必要がある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	待機児童数	146	92	29	人	↓↓↓
②	小規模保育事業所園児の定員増数	37	190	38	人	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
平成30年度は、小規模保育事業所の施設整備により38名の定員増、認可保育所の施設整備により424名の定員増を図ったが、待機児童の解消に到らなかった。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	38,762,000	174,392,200	66,362,800
事業費(b)(円)	36,016,000	171,707,400	63,726,000
うち一般財源	1,058,000	19,894,400	7,080,000
職員給与費(c)(円)	2,746,000	2,684,800	2,636,800
人役・職員(人)	0.40	0.40	0.40
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	本市の保育需要は、増加しており、待機児童解消のために、計画的に小規模保育事業所整備を進めていく。	③取組における課題(Check)	小規模保育事業所は、主に賃貸物件を改修し整備するが、小規模保育事業所として活用できる賃貸物件が少ないことや、賃料が高額なため整備が進まない。
②H30に実施した取組(Do)	本市の保育需要の増加に伴う待機児童の解消に向けて、平成30年度における小規模保育事業所は、2施設整備を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	国の補助制度を有効に活用し、令和元年度は、待機児童数の動向を注視して、小規模保育事業所の整備を図る。